

第7回

ふるさと川柳コンテスト入賞作品

【応募総数】2,814点(1,616名)

【応募期間】令和2年6月1日～令和2年9月3日

募集要項

- 1 内容 ふるさとをテーマとしたもの。
- 2 主催 兵庫県北播磨県民局
- 3 後援 兵庫県教育委員会播磨東教育事務所・神戸新聞社
- 4 応募要領 一人2句まで。川柳「五・七・五」の作品で未発表、自作のもの。川柳作品と郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名及び学年を記入のうえ、ハガキ、FAX、インターネットで応募。
- 5 賞 最優秀賞 1点／1万円分の図書カード・北播磨特産品
優秀賞 3点／5千円分の図書カード・北播磨特産品
佳作 20点／千円分の図書カード
- 6 発表 審査会終了後、該当者に通知。
兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 7 著作権 入賞作品の著作権は、兵庫県北播磨県民局に帰属。
- 8 活用方法 「ふるさと北播磨」の普及啓発用カレンダーや啓発グッズに使用。

審査員

委員長 大西 泰世（おおにし やすよ）

川柳作家。兵庫県立大学講師。各地で川柳教室を開くとともに、NHKラジオへの出演や多可町の

「日本酒の川柳」等の審査員としても活躍中。

委員 清水美知子（しみず みちこ）

関西国際大学人間科学部人間心理学教授

上田尾 真（うえだお まこと）

神戸新聞社北播総局長

《審査員講評》

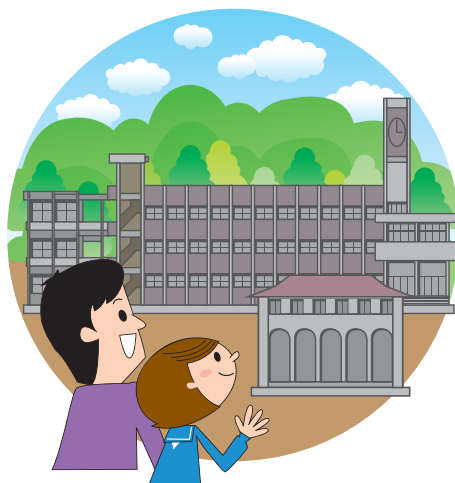


ありがとう 父も学んだ 旧校舎

小野市 小野南中学校 2年 岩坪 由来

▼お父さん、そして自分も同じ学校で学べたことに対する感謝の気持ちがとてもストレートに表されていますね。(ありがとう)という言葉に込められたふるさとへのさまざまな思いが伝わってきて胸打たれました。

(大西審査員)



▼老朽化している校舎の改修や建て替えが進んでいます。新しくきれいになるのは嬉しいけれど、歴史ある建物がなくなるのは残念でもある。「父も学んだ」というフレーズに愛着が感じられます。

(清水審査員)

▼親から子へ引き継がれていく「ふるさと」の時の流れを、見事に表現した一句です。「ありがとう」の言葉に、ふるさとへの感謝の気持ちも表現され、見事な一句です。

(上田尾審査員)

たくましい父のせなかはカブトムシ

小野市 三木中学校 3年 井上 夢菜

▼とても面白い句だなと感心しました。(カブトムシのようだ)ではなく(カブトムシ)と断定したところがすばらしいです。お父さんのたくましさが見事に表現されていますね。(大西審査員)

▼昆虫の中でもカブトムシは外見も力強くカッコイイので、幅広い年代に人気があります。「父のせなか」をカブトムシにたとえたところがとても面白いですね。お父さんへのリスペクトが感じられる句です。(清水審査員)

▼幼い頃、背負ってもらった父の大きな背中。とても力強くたくましさを感じた。その思い出をカブトムシの姿に重ね合わせて、ふるさとを思う気持ち伝わります。(上田尾審査員)



《審査員講評》

ふるさととはきらきらひかるところだね

小野市 小野東小学校 3年 水池 蒼空

▼ふるさとの何がすばらしい、どこがすばらしいと書かずに(きらきらひかるところ)とだけ書いた上手さにびっくりしました。読む方があれこれと想像して、ますますそのふるさとの魅力が広がりますから。(大西審査員)

▼豊かな自然に囲まれた街で家族や気の置けない仲間と過ごす日々。ふるさととはかけがえのない宝物であり、幸せの象徴です。「きらきらひかる」という表現が効いています。(清水審査員)

▼きらきら光るのは、川面でしょうか？それとも田んぼに実った稲穂でしょうか？そのいずれもが、ふるさとの情景を思い起こさせ、それはこれからの思い出となり、きつときらきらひかることでしょう。(上田尾審査員)



《審査員講評》

優秀賞



おかえりと優しい顔でらかなさん

加西市 兵庫教育大学附属中学校 1年 井上 稀文

▼(らかなさん)がおかえりと迎えてくれたんですね。ふるさととは人もらかなさんもみんな仲よし、そんなやさしい空気にあふれる里のようすが見えてきそうです。(大西審査員)

▼自然の中でゆつたりと瞑想の旅を続ける石仏たち。素朴で表情豊かな羅漢の中には、身のまわりにいる人に似た顔が必ずあると言われています。「らかなさん」への親しみがあふれる句です。(清水審査員)

▼加西市にある五百羅漢。その顔はどれも優しい顔をしています。子ども頃の慣れた風景、ふるさとに帰ると変わらぬ優しく迎えてくれる。ふるさとのやさしさを感じさせる句です。(上田尾審査員)



《審査員講評》



大好きだこの何もないいなかみち

三木市 三木東高等学校 2年

志波 愛里

空の青森の緑は変わらずに

三木市 三木北高等学校 1年

大石 心菜

暑すぎて蝉も鳴けない夏休み

三木市 三木北高等学校 1年

押部 結衣

ふるさとのあの日の夕日忘れない

小野市 三木北高等学校 1年

高芝 加奈

あの校舎あのなつかしい仲間たち

三木市 吉川中学校 3年

工藤 茉穂

山見える鏡のような田んぼから

三木市 吉川中学校 3年

中西 祐斗

これからもずっと住みたい僕の町

三木市 吉川中学校 1年

黒田 大智

木登りをしてたあの木はきりかぶだ

三木市 自由が丘小学校 6年

橋本 心愛

下見れば夕焼けうつる水たまり

三木市 自由が丘小学校 5年

中張 柚乃

ふるさとの坂をのぼれば三木の風

三木市 自由が丘小学校 5年

宮川 裕翔



あいさつがにがてなわたしませえずえがお

小野市 小野小学校 4年

藤田 乃亜

おにいちゃんむしをつかまえはいたつち

小野市 小野東小学校 3年

渡邊 結香

かかしさんおいしいお米まもってね

小野市 河合小学校 2年

前田 真麻

マスクして暑さに負けず墓参り

加西市 日ノ本学園高等学校 1年

山下 あすか

はかまいりカブトムシにも会えました

加西市 北条東小学校 3年

西浦 璃莉

追いかける虫から夢に変わってく

加東市 兵庫教育大学附属中学校 3年

小川 尚之

うれしいな畑の野菜おすそ分け

加東市 東条東小学校 4年

金次 大珠

いねかりをがんばるじいじかつこいい

加東市 社小学校 3年

小林 莉奈

8月も出番があるよランドセル

多可町 中町北小学校 6年

内田 結菜

あさがおとはやおききょうそうかてるかな

多可町 中町北小学校 1年

安平 悠真